

(様式5)

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月22日

事業所名 多機能型通所事業所つぐみ

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	4	・利用者様が安全に過ごせるよう広い空間を確保するなど工夫しています。	・室内の配置換えをして広いスペースで活動できる様工夫しました。 ・利用児様の私物の預かり物などは適宜返却し、整理整頓に心がけています。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	4	・配置数が適切になるよう、勤務状況に応じてその都度考え、配慮しています。	・児童福祉法に基づき、必要人数配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1	・整理整頓に心がけ、何がどこにあるのかわかるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	2	・広くスペースが確保できるように物の配置などをその都度変えています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	2	・目標については個別支援計画書のケース会議を実施し、児童指導員等の意見も反映している。また、ヒヤリハットや改善点、当日の来所児童の振り返りを全職員で行っています。	職員全体で意見を出し合い質の高い振り返りができるようにしていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		・自己評価アンケートや定期的なヒヤリングの際に頂いたご意見やご要望を踏まえながら、可能な限りニーズに沿ったサービス提供ができるように職員間で検討し、業務改善につなげています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1	・ホームページで公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	4		・委託業務のため、必要に応じて実施を検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		・職員全員が幅広く研修に参加できるように調整しています。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		・主観的にならないように、支援計画は職員全員で検討し児発管が作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2	・標準化されたアセスメントシートを使用しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
12	<p>児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか</p>	7	1	<p>・利用児様や、保護者様のニーズに沿って適切な支援目標と支援内容を具体的に記載しています。</p>	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	1	・個別支援計画の理解と周知を徹底することで計画に沿った支援を行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		・職員全員で話し合い、子供達が楽しく色々な体験ができるように考え活動プログラムを作っています。	・様々な体験を積み重ね、将来必要となる力を養えるよう活動プログラムを職員全員で考えていきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		・季節行事等を必ず取り入れながら、子供達が楽しく色々な経験が出来るように考え、活動プログラムが固定化しないよう工夫しています。	・今後も充実した活動内容を行えるように工夫していきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	8		・個別活動のほか、ルール遊びやごっこ遊びなど皆で関わりが持てる集団活動のプログラムも提供しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		・支援開始前には当日来所児童全員の前回活動時の様子や配慮事項の確認、プログラムの共有、指導員の配置、役割分担等の確認等、念入りな打ち合わせを毎回行っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		・支援終了後には一人一人の子供の様子を振り返り、書面に残すと共に次回支援に繋がるよう課題や活動内容、提示法等の検討を行っています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		・日誌に記録を取り、次回以降の支援に繋げている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		・定期的にモニタリングを実施し、保護者様と児童の現状把握、振り返りを行ったうえで見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		・サービス担当者会議には、主に児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	2	・ケースに応じて複数の関係機関と連携しています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	1	・ケースに応じて複数の関係機関と連携しています。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	1	・主治医や協力医療機関等と、連絡体制は整っています。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	2		・他の関係機関と連携し、情報共有・相互理解に努めます。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	3		・他の関係機関と連携し、情報共有・相互理解に努めます。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		・専門機関の主催する研修などに幅広い職員が参加できるよう調整し、療育スキルや知識の向上に繋がっています。	・引き続き研修等に参加、また相談支援員の方などからも情報を聞き、積極的に参加していきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		8		・コロナ禍のため出来なかったが、これからは地域の行事等に参加出来る機会を設けていきたいです。
29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	4	・協議会等には、積極的に参加しています。	・子育て会議等があった時は、積極的に参加しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		・日頃から保護者様と話し合い、共通理解を持っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	3	5		・保護者様からの不安や疑問な点を情報収集し解決していけるように努力していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		・契約書と重要事項説明書の内容については、契約時に直接説明を行い、その場で疑問点などがあれば解消できるようにしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		・児童発達支援の提供すべき支援のねらいに基づき、6ヶ月以内に1回作成し保護者様から同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		・モニタリングの時以外でも、ご相談があれば適宜丁寧な対応を心がけています。また必要に応じて改めて時間を設けています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	6		・保護者様同士で交流や話しあえる場を作りたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		・相談や申し入れがあった際には適宜、適切かつ迅速に対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1	・児童の様子(写真、活動、様子)についておたよりで伝えています。 ・ホームページでも随時更新しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		・個人情報と思われる資料、個人名の入った書類等はカギ付き書庫の中に保管し、処分する時はシュレッダーしています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		・口頭のみならず、書面でも伝える等、先方の事情を考慮し対応しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8		・毎年、事業所の外に向けて作品展示を行っていますが、その際近所のお宅へポストイングをし観覧出来る旨を伝えています。	
	非常時	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8		・緊急時対応マニュアル等、玄関入口に閲覧用ファイルにて周知できるようにしています。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		・年6回の避難訓練と、毎月防災の読み聞かせを行っています。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8		・服薬や予防接種等は、来所時に母に確認し状況を把握しています。てんかん等配慮が必要な利用児様はミーティング時に毎時確認しています。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2		・現在、食事提供の機会はなく、また利用中のお子様で医師の指示書はありませんが、今後あった場合指示に基づき対応していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
等 の 対 応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1	・事例発生時にはその都度記録し、全職員で共有すると共に、今後の対応策を話し合い実践しています。	・ヒヤリハット等はその都度事例を作成して、事業所内で共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		・岩手県の権利擁護、虐待防止研修に参加した職員が、周知、共有するために事業所内で研修を行いました。 ・虐待防止に関わるセルフチェックを全職員に対して毎月実施しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8		・身体拘束の適正化については運営規程に明記し、研修等の機会を通じて職員にも周知することで適切な対応を図っています。保護者様に対しても個別支援計画書に記載し、内容を契約時にお伝えしています。	